

2026年度（秋入学：10月入学）

星薬科大学大学院薬学研究科

博士課程社会人特別選抜

学生募集について

生涯学習や社会人教育の必要性が求められている中、本大学院薬学研究科博士課程では先端科学技術を習得できる場を提供し、最先端医療に対応可能な知識や能力を身につけることを目指す社会人のために、社会人特別選抜を実施して積極的に社会人の受け入れを行っています。

平成24年度からは、薬学の新教育制度に対応すべく博士課程を改組し、新たに修業年限の異なる以下の2つの博士課程を設置しました。

薬学専攻（修業年限4年）

総合薬科学専攻（修業年限3年）

出願における注意事項

☆それぞれの専攻は設置の趣旨が異なりますので、出願資格を確認の上、該当する専攻に出願してください。

☆博士課程ではどちらの専攻においても修得しなければならない単位が設定されており、演習（セミナー）への参加や実験・研究・論文の作成等が必要で、それらを怠ると単位が修得できないことがあります。修業年限とはその年数で修了できることを保証するものではありません。活動状況によっては、学位が取得できない場合や修業の延長もあり得ます。出願の際には必ず志望する研究領域（研究分野）の指導教員と連絡をとり、研究の進め方等の確認をしてください。

目次

薬学専攻（募集、出願資格、学費等）	1・2ページ
総合薬科学専攻（募集、出願資格、学費等）	3・4ページ
入試情報（両専攻共通）	5・6ページ

薬学専攻

修業年限：4年（最長8年までの修学を認める。）

修了要件：課程修了に必要な履修単位数は30単位以上とする。（詳細は下記の表を参照。）

学位申請にあたっては、学位論文を提出するとともに、最終試験（口述発表および質疑応答）を受け、最終審査に合格しなければならない。

学 位：博士（薬学）

出願要件：主に病院もしくは薬局等に勤務する薬剤師、または、研究機関、企業等に勤務する研究者・技術者（詳細については下記の出願資格を参照。）

アドミッション・ポリシー（薬学専攻博士課程が求める人材）

「薬学専攻」博士課程は薬学部「薬学科」（6年制課程）を基礎とし、医療の現場における臨床的な課題を対象とする研究領域を中心とした教育・研究を行い、臨床薬学・医療薬学研究者や専門薬剤師など高度な職能を持つ人材を育成するとともに、学部教育において臨床に係る実践的な能力を培った者に対し、先進的な基礎薬学に重点を置いた教育・研究を施し、高度の研究能力と豊かな学識を有した研究者・教育者の育成を目的としており、以下のような人材を求めています。

1. 薬学を学ぶ者としての倫理観・責任感を備えている者。
2. 探求心と向上心を持って研究に取り組める者。
3. 医療人としての自覚を持ち、社会貢献の意欲の高い者。
4. 基礎学力を有し、自己研鑽に取り組める者。

薬学専攻博士課程の概要（コース及び修了要件）

募集する薬学専攻博士課程のコースは以下の3コースである。

コ ー ス	内 容	修了要件
臨床・医療薬学研究コース	病院・薬局等において一定期間の研修・研究を行うコース	講義 (4単位以上) 臨床・医療薬学研究 (6単位) 薬学特別演習Ⅰ (8単位) 薬学特別研究Ⅰ (12単位)
先進薬学研究コース	本学における実験・研究等を中心に行うコース	講義 (4単位以上) 薬学特別演習Ⅱ (10単位) 薬学特別研究Ⅱ (16単位)
がん医療・臨床薬学研究コース ☆社会人のみが対象 ☆出願希望者は事前に教務部に連絡すること	病院・研究所等のがん医療分野の現場において、臨床的な研究等を中心に行うコース ※4 大学連携教育プログラム（注）のワークショップの参加が義務付けられています。	講義 (4単位以上) がん医療・臨床薬学研究 (10単位) 薬学特別演習Ⅲ (8単位) 薬学特別研究Ⅲ (8単位)

（注）東京慈恵会医科大学、昭和医科大学、上智大学及び本学が連携して開催するがん専門医療人養成のプログラム

1. 募集人員

若干名（全入試区分の合計5名）

2. 募集研究領域

※入学志願者は志望する指導教員と予め必ず連絡をとること。

研究領域	研究分野
治療薬学領域	薬理学、薬物治療学、医療薬学、行動可塑性制御、薬動学、臨床薬物動態学、機能形態学、分子生物学、運動科学、
医薬品適応学領域	分子薬剤学、製剤設計学、薬品物理化学、薬品分析化学

病態解析学領域	病態生理学、環境衛生化学、組織再生学、毒性学、生化学、微生物学、先端生命科学
医薬情報化学領域	生薬学、薬品製造化学、生体分子有機化学、生物制御科学、機能分子創成化学、合成化学
実践薬学領域	臨床疫学、臨床薬学、臨床評価学、薬学臨床教育評価学、医療コミュニケーション学
データサイエンス領域	医療データサイエンス学

(研究領域ごとの定員は特に定めていない。)

3. 出願資格 (2026 年 10 月 1 日現在で次の A、B のいずれかに該当する者)

A：病院もしくは薬局等に勤務する薬剤師で、薬剤師として原則 3 年以上の勤務経験を有し、所属長の許可を受け、入学後も引き続きその身分を有する者で、次の(1)～(4)のいずれかに該当する者

B：研究機関、企業等に勤務する研究者・技術者等で、原則 3 年以上の勤務経験を有し、所属長の許可を受け、入学後も引き続きその身分を有する者で、次の(1)～(4)のいずれかに該当する者

(1) 大学 (6 年制の薬学、医学、歯学又は獣医学の学部) を卒業した者

(2) 外国において、学校教育における 18 年の課程 (最終の課程は薬学、医学、歯学又は獣医学) を修了した者

(3) 文部科学大臣の指定した者

(4) その他、本大学院において、大学における修業年限 6 年の薬学、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者

4. 学費 (初年度)：

単位：円

内 訳	入学手続時	備 考
入 学 金 ☆	100,000	☆本学出身者は免除
授業料 (入学年度の秋学期 (後期) 分)	200,000	実験費を含む
学生教育研究災害傷害保険料	2,720	保険料は 4 年分
本学出身者納付金合計	202,720	
他大学出身者納付金合計	302,720	

(次年度以降)

内 訳	春学期 (前期)	秋学期 (後期)	合計	備 考
授 業 料	200,000	200,000	400,000	実験費を含む

(4 年間＝8 学期分合計：入学金＋授業料＋保険料)

本学出身者	1,602,720	最終年度は、春学期 (前期) までで 4 年間＝8 学期となるが、修了できなかった場合は、学期ごとの授業料及び年度ごとの保険料が必要となる。
他大学出身者	1,702,720	

(注) 大学院学則に定められた授業料は 800,000 円 (年額) であるが、博士課程社会人特別選抜で入学した学生については 400,000 円 (半額) を減免し、年間 400,000 円とする。

次年度以降の学費は授業料のみである。

なお、論文審査時に、別に定める審査料の納入が必要である。(2026 年度実績：50,000 円)

※上記学費については一部変更することがある。

※入学手続時の学費の納入期限については後掲の「入学手続」を参照すること。

※次年度以降の学費については入学後に指定銀行口座を届け出てもらい、自動引き落としとする (引き落とし予定日は、春学期：4 月 5 日、秋学期分：10 月 5 日。該当日が土休日の場合は翌営業日。)

総合薬科学専攻

修業年限：3年（最長6年までの修学を認める。）

修了要件：課程修了に必要な履修単位数は46単位以上（修士課程において修得した30単位を含む）とする。ただし、博士（後期）課程においては、総合薬科学特別演習6単位、総合薬科学特別研究10単位の合計16単位を履修するものとする。

学位申請にあたっては、学位論文を提出するとともに、最終試験（口述発表および質疑応答）を受け、最終審査に合格しなければならない。

学 位：博士（薬科学）

出願要件：主に研究機関、企業等に勤務する研究者・技術者
（詳細については下記の出願資格を参照。）

アドミッション・ポリシー（総合薬科学専攻博士課程が求める人材）

「総合薬科学専攻」修士課程・博士課程（後期）は、薬の創製、生体との相互作用から適正使用までのすべての薬学領域で活躍する研究者・開発者として必要とされるハイレベルな研究能力と専門領域における深い学識を養うことを目標とし、生命科学基礎研究や創薬研究に携わる革新性・創造性豊かな優れた研究者・技術者の養成を目的としており、以下のような人材を求めています。

1. 薬学を学ぶ者としての倫理観・責任感を備えている者。
2. 探求心と向上心を持って研究に取り組める者。
3. 生命科学や創薬研究に対する意欲の高い者。
4. 国際的に活躍を期待できる研究者の素養がある者。

1. 募 集 人 員

若干名（全入試区分の合計5名）

2. 募集研究領域

※入学志願者は志望する指導教員と予め必ず連絡をとること。

研究領域	研究分野
基盤薬学領域	生化学、薬品分析化学、組織再生学、病態生理学、薬動学、臨床薬物動態学
機能分子薬学領域	薬品物理化学、分子薬剤学、製剤設計学
創薬化学領域	薬品製造化学、生体分子有機化学、機能分子創成化学、合成化学、生薬学
環境保健学領域	微生物学、機能形態学、分子生物学、運動科学、薬理学、薬物治療学、環境衛生化学、薬学臨床教育評価学、医療薬学、行動可塑性制御、毒性学、医療コミュニケーション学、臨床疫学、臨床薬学、臨床評価学
医薬創成科学領域	生物制御科学、先端生命科学
データサイエンス領域	医療データサイエンス学

（研究領域ごとの定員は特に定めていない。）

3. 出 願 資 格（2026 年 10 月 1 日現在で次の各号のいずれかに該当する者）

研究機関、企業等に勤務する研究者・技術者等で、所属長の許可を受け、入学後も引き続きその身分を有する者で、次の(1)～(4)のいずれかに該当する者。

- (1) 理科系大学大学院において修士の学位を得た者。
- (2) 外国において前号の学位に相当する学位を授与された者。
- (3) 文部科学大臣の指定した者。
- (4) その他、本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

ただし、(1) ～ (3) については、修士の学位取得後、研究機関、企業等で 2 年以上研究に従事した者とする。

(4) については大学卒業後、研究機関、企業等で 5 年以上研究に従事した者で学術論文、著書、研究発表、特許等により修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者とする。

4. 学 費（初年度）：

単位：円

内 訳	入学手続時	備 考
入 学 金 ☆	100,000	☆本学出身者は免除
授業料 (入学年度の秋学期（後期）分)	200,000	実験費を含む
学生教育研究災害傷害保険料	2,100	保険料は 3 年分
本学出身者納付金合計	202,100	
他大学出身者納付金合計	302,100	

(次年度以降)

内 訳	春学期(前期)	秋学期(後期)	合計	備 考
授 業 料	200,000	200,000	400,000	実験費を含む

(3 年間＝6 学期分合計：入学金＋授業料＋保険料)

本学出身者	1,202,100	最終年度は、春学期（前期）までで 3 年間＝6 学期となるが、修了できなかった場合は、学期ごとの授業料及び年度ごとの保険料が必要となる。
他大学出身者	1,302,100	

(注) 大学院学則に定められた授業料は 800,000 円（年額）であるが、博士課程社会人特別選抜で入学した学生については 400,000 円（半額）を減免し、年間 400,000 円とする。

次年度以降の学費は授業料のみである。

なお、論文審査時に、別に定める審査料の納入が必要である。（2026 年度実績：50,000 円）

※上記学費については一部変更することがある。

※入学手続時の学費の納入期限については後掲の「入学手続」を参照すること。

※次年度以降の学費については入学後に指定銀行口座を届け出てもらい、自動引き落としとする。

(引き落とし予定日は、春学期分：4 月 5 日、秋学期分：10 月 5 日。該当日が土休日の場合は翌営業日。)

入試情報（両専攻共通）

5. 出 願 期 間

2026 年 7 月 1 日（水）から 7 月 8 日（水）までとする。（ただし、薬学専攻の出願資格の(4)もしくは総合薬科学専攻の出願資格の(4)により出願する者は、6 月 25 日（木）から 6 月 27 日（土）正午までとする。）

6. 受 験 料

出願者は、予め受験料 20,000 円 を振り込むこと。（出願期間前でも可）

[振込口座]

ガク）ホシヤッカダイガク ニュウガクグチ

みずほ銀行 荏原支店 普通 No. 859346 学）星薬科大学 入学口

※ネットバンキングやキャッシュコーナーでの振り込みで可。ただし、振込手数料等は自己負担となる。本学に指定の金額が振り込まれるようにすること。

教務部に振込用紙の用意があるので、大学に来校する機会がある場合は、それを受領し、銀行窓口で振り込むことも可。（大学では振り込みを受け付けていない。）

7. 出 願 手 続

入学志願者は、以下の書類を出願期間中に本学、教務部に提出すること。

出願は、窓口出願（9 時から 17 時：休日を除く、土曜日は正午まで）あるいは郵送等で行うこと。（郵送等の場合は、出願期間内に必着のこと。）

※本学所定用紙はホームページからダウンロード可能

(1) 入学志願書（本学所定の用紙）

→ 必要事項を本人が明記し、脱帽・上半身・正面・無背景で縦 5cm・横 4cm、出願前 6 か月以内に撮影した写真を貼付すること。

(2) 活動報告書（本学所定の用紙）

(3) 最終学歴証明書

→ 卒業（修了）した大学（大学院）の卒業証明書（修了証明書）で可。本学が最終学歴である場合は不要。

(4) 上記の受験料を振り込んだ証明

→ 振込手続き書など振込額がわかる書類を提出すること。（コピーでも可）
本学の所定振込用紙を使用の場合は、受取書。

(5) 宛名用紙 1 枚（本学所定の用紙）

→ 合格者に対して 8 月下旬に合格通知を、9 月中旬以降に入学許可書を送付する際に使用。
それぞれの書類が確実に届く住所を記入すること。

(6) 受験票送付用封筒（郵送出願の方および出願資格の(4)により出願する方のみ必要。）

※大学窓口に出願し、受験票を受領する場合は不要。

→ 各自で封筒を用意し、受験票送付先を記入し、送付料分の切手を貼付すること。

封筒は長 3（定型の大型のもの）以上の大きさであれば可。

長 3（定型）の場合、切手は 84 円。それ以上（定型外）の場合、切手は 120 円。

(7) 所属長の受験許可書（本学所定の用紙）

(8) 口頭試験用資料（当日、口頭発表する内容を 3,000 字以内でまとめた邦文要旨。修士論文発表の際に使用したものを利用しても可。）PDF 化したものを 1 部提出。

※A4 で作成すること。

※内容については、予め、本学の志望研究分野の先生と相談しておくこと。

※提出方法は、USB や Disk 等の媒体での提出か、教務部宛にメールの添付で送付すること。

8. 試験期日および場所

2026 年 8 月 24 日（月） 星薬科大学

9. 試験時間および試験科目

試験時間	試験科目
9:30 ～ 10:30 (60 分)	専門領域における記述試験
試験終了後	面接（複数の教員による面接）
午後 ※1 人当たり 20 分 (開始予定は 13:30)	上記「出願手続」の(8)で提出した内容を中心とした口頭試験 (発表 10 分、質疑応答 10 分が目安)

開始時間は出願者の数等により異なりますので、出願者は午後の予定を空けておくこと。

10. 合格発表

2026 年 8 月 26 日（水）夕方、オンラインで結果を発表し、かつ合格者には通知する。

11. 入学手続

合格者は指定の期日までに入学手続時納付金（入学金＋1 年次秋学期分授業料＋保険料）を納入し、必要な書類を提出しなければならない。

（合格者には合格通知書と併せて入学手続要項および所定の用紙を送付する。）

なお、手続期限は、2026 年 9 月 9 日（水）までとする。

12. 注意事項

- (1) 一度提出した書類並びに納付金は返還しない。
- (2) 出願に際し虚偽の記載または申告などの事実のあるときは入学許可を取り消す。

【参考】

学位の申請について（両専攻共通）

提出書類等の申請の詳細については、入学後のオリエンテーションで説明しますが、博士の学位論文の構成要件は以下のようになっています。

◎学位論文は、審査制度のある論文誌発表(又は掲載決定済又は投稿済)の論文 1 報以上（IF=3 以上の英文論文）の内容で構成されていなければならない（筆頭、責任など主要著者）。学位の最終審査会議の議決以前に少なくとも掲載決定済でなければならないが、ハイインパクトジャーナル（原則、IF 10 以上）の場合は研究科委員会の議決時に改訂中でも可とする。また、原則、IF=3 に満たない雑誌の場合、論文 2 報以上（うち 1 報は英文論文の主要著者）としての論文の内容で構成されていなければならない（投稿先の論文誌は、PubMed 等の database 収載雑誌とする）。

本学へのアクセス



東急池上線(五反田から3分)「戸越銀座」下車徒歩8分

東急目黒線(目黒から3分)「武蔵小山」下車徒歩12分

都営地下鉄浅草線「戸越」下車徒歩10分



ホームページアドレス
<http://www.hoshi.ac.jp/>

入学に関する問い合わせ先

〒142-8501 東京都品川区荏原 2-4-41

星薬科大学 教務部 大学院係

電話 03(5498)5816, 5817 (ダイヤルイン)

E-mail kyomu-g@hoshi.ac.jp